

マイクロソフト社製品の包括ライセンス契約について

総合メディア基盤センター 青木 健一
井町 智彦
富田 洋

1. はじめに

2010年3月、金沢大学はマイクロソフト社製品の包括ライセンス契約を締結しました。これにより、金沢大学に在籍する全ての教職員及び学生は、マイクロソフト社のWindowsとOfficeのライセンス料が無償¹となります。また、金沢大学が教育・研究・運営に使用するコンピュータならば何台でもWindows（更新）とOfficeがインストール可能となります。

金沢大学はICT教育を学生教育の柱に掲げ、アカンサスポータル²の構築、事務合理化や学内情報データベースなどICT（Information and Communication Technology）を活用した大学運営改善も行い、傑出した成果を上げて来ました。包括ライセンスの締結によって、更に大きな発展を期します。

2. 背景と経過

PC（Personal Computer）ソフトウェア業界の最大手であるマイクロソフト社は、高等教育機関に向けて、安全かつ簡素で安価なライセンス形態である「包括ライセンス」の提供を始めました。大きなコスト削減にもなるため、現在、いくつかの大学や国立高専機構などで、この新しいタイプのライセンスが利用されるようになってきました。

金沢大学では2008年度より全学的な「ソフトウェア資産管理」を毎年実施しています。この資産管理システムは、国立大学法人として非常に進んだ取り組みとなっており、各方面から高く評価されています。また、全学生PC必携と情報教育の強化を5年前から開始し、Officeソフトウェアも必須として来ました。この学生教育の方針とソフトウェア資産管理の観点から、全学的な検討を進め、2010年3月からのマイクロソフト社との包括ライセンス締結を決定しました。

3. 包括ライセンスとは

2007年11月からマイクロソフト社が提供しているライセンスの一形態です。大学や高等専門学校などの高等教育機関を対象としています。包括ライセンスの契約は、コンピュータ数ではなく全学に在籍する教職員と学生の人数に基づいて

契約する「人につくライセンス」となります。対象となるソフトウェアについては個々のライセンスをそれぞれに管理する必要がなくなり、不正利用が発生する危険性も大幅に減らせます。

4. 包括ライセンスのメリット

金沢大学での教育、研究、運営にはPCは欠かせず、Windows、Officeの毎年新規購入数は約1千件の規模です。また、学内の種々のサーバへのアクセス・ライセンスの費用も多額です。ソフトウェアの更新も相当数に上ります。学生はPC必携に付随してOfficeも必須であり、教職員も自宅に持ち帰る仕事のために自宅PC用のソフトウェアを購入する必要もありました。これらのコストの合計は、年間1億円を超える額になっています。

一方、包括ライセンス契約は教職員、学生の人数に比例する額が毎年必要ですが、その契約金額は上記コストの1/3程度であり、十分なコストメリットがあります。特に新入生にとっては、入学時の必携PCの準備が大きな経済的負担でしたが、それが軽減されることとなります。また、在学中は最新のソフトウェアに自由に更新できて、卒業後も継続して使用できますので、学生のパソコン活用を応援する意味でも大きな効果があります。

5. ライセンス対象者

この契約の対象となる者は、金沢大学に在籍するすべての教職員と学生です。これには非常勤職員や大学院生、留学生、研究生も含まれます。（ただし、非常勤講師としてのみ発令されている方は含みません。）

附属学校園の職員も、金沢大学職員として同じ条件で利用することが可能です。ただし、附属学校園の生徒、児童、園児は対象外です。

1. 別途、インストールメディア代が発生する場合があります

6. 対象となるコンピュータ

対象となるコンピュータは、下記のとおりです。

- 6.1. 教職員が大学で業務に使用しているコンピュータは何台でも使用可能です。研究室、実習室等に設置された研究教育用のコンピュータも全て含みます。
- 6.2. 教職員が自宅ワークで使用するコンピュータは一人一台まで可能です。ただし、退職、転出などで金沢大学から離れる場合にはアンインストールする義務があります。
- 6.3. 学生・大学院生が所有するコンピュータは在学中は台数制限はありませんが、卒業後は一人一台までとなります。途中退学や転出する場合にはアンインストールする義務があります。

7. 対象となるソフトウェア

対象となる製品は Office, Windows, Core Client Access License の三種類です。バージョンは常に最新のものとなります（2010年4月現在では、Windows7, Office 2007, Office 2008 for Mac）。Windowsについてはアップグレードライセンスのみとなりますので、空のハードディスク等にインストールすることはできません。なお、いわゆるダウングレードも可能です。エディションについては、最高位のものを提供します。

7.1. Office

- ・ Microsoft Office 2003 Professional
- ・ Microsoft Office 2007 Enterprise
- ・ Microsoft Office 2008 for Mac
- ・ Microsoft Office 2010（2010年夏、供給開始予定）

7.2. Windows

- ・ Microsoft Windows XP Professional / Enterprise
- ・ Microsoft Windows Vista Ultimate / Enterprise
- ・ Microsoft Windows 7 Ultimate

7.3. Core Client Access License

マイクロソフトの Windows サーバにアクセスするためのライセンスです。利用数に制限はありません。

8. ソフトウェアの入手とインストール

製品の入手およびインストールの方法には、学内ネットワークでのダウンロードとインストールディスク購入の2つの方法があります。

8.1. 学内ネットワークでのダウンロード

総合メディア基盤センターのサーバからダウンロードして、対象のコンピュータにインストールすることができます。ただし、

大学の業務で使用するコンピュータのみが対象となり、教職員のみがダウンロードすることができます。

インストールする時には、対象のコンピュータは金沢大学のネットワーク上にある必要があります。教職員が金沢大学 ID による認証を経てサーバーにログインし、Web 上で利用条件誓約書に同意した上で、ダウンロードインストールが開始されます。ダウンロードの回数に制限はありません。

8.2. インストールディスク購入

金沢大学生協店舗で販売されるインストールディスクを購入し、インストールできます。教職員が自宅ワークで使用するコンピュータと学生が所有するコンピュータが対象となります。学生の場合には台数制限はありませんが、教職員が自宅ワークで使用できるのは一人一台までとなります。生協で購入する時には、本人確認のため、学生証あるいは職員証の提示が必要となり、誓約書に同意署名が必要です。

インストールディスクの価格は1400円ですが、Windows と Office をセットで購入するときは2000円となります。

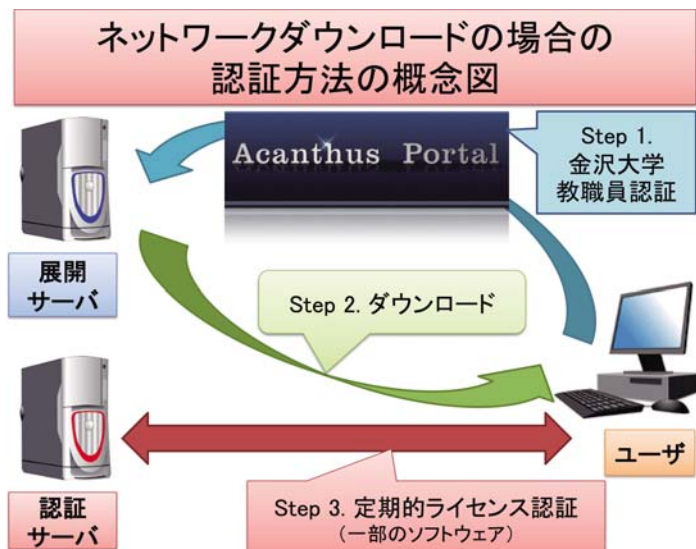
このインストールディスクの中身は、一般の販売店等で購入できるマイクロソフトの製品と変わりません。つまり各インストールディスクに1つのプロダクトキーが与えられていて、通常のインストールと同様にインストール時にプロダクトキーを入力します。インストール後はアクティベーション（マイクロソフトとのネットワーク認証）を経て利用可能となります。なお、一つのプロダクトキーで一台のコンピュータにしかインストールできません。この点は、市販のパッケージ版と異なります。

9. セキュリティ対策

包括ライセンス契約において、ダウンロードにより提供できるソフトウェアはボリュームライセンス版となり、インストールの際に必要なライセンスキーは、全学で単一のものを共有する事になります。当然ながら、このライセンスキーを学外に流出させる事は、万が一にも許されません。従って、ダウンロードによる提供は、ライセンスキーの漏洩が起こらない安全な方法で行うこととなります。

まず、インストーラをダウンロードする際にユーザ認証を課し、利用資格を持った教職員のみがダウンロードできます。通常のパッケージ版とは異なる特殊なインストーラを提供し、ライセンスキーは非公開とします。インストール時、ライセンスキーの入力は不要であり、インストール先の PC が学内ネットワークに接続されている状態でのみ、正常インストールします。使用開始後もソフトウェアによっては、定期的なライセンス認証を行います。詳細は Web ページをご覧ください。

教職員が自宅で使用する PC や学生所有の PC については、インストールディスクを購入する必要があります。



ネットワークダウンロードによる利用の場合の認証の概念図

STEP 1

金沢大学 ID によって教職員からのアクセスであることを認証。

STEP 2

ダウンロードサーバからソフトウェアを金沢大学ネットワーク上の PC にインストール。

STEP 3

[一部のソフトウェアの場合] 使用開始時及び定期的に、正規のライセンスであることを認証。PC が金沢大学ネットワーク上にある必要がある。

なお「金沢大学ネットワーク上」とは、VPN サービスによるアクセスを含む。

10. まとめ

マイクロソフト包括ライセンスの利用方法は以下のようにまとめられます。

	大学のコンピュータ	教職員の自宅使用	学生
Windows・Office のエディション	最高位	最高位	最高位
インストールディスク購入	×	○	○
ダウンロード	○	×	×
在籍中のインストール制限	なし	1台のみ	なし ^{※注1}
退職・転出・卒業後の制限	—	アンインストール (継続使用不可)	1台のみ継続可能 ^{※注2}

※注1 ただし、同一ソフトウェアを複数購入する場合、理由の説明を求める場合があります
 ※注2 卒業時点でインストールされているソフトウェアのうち、1台のPCに限り継続利用可能。

11. 包括ライセンス応援中：あざみ

包括ライセンスの広報活動にアカンサスポータルのマスコットキャラクター「あざみ」を採用しました(右図)。このキャラクターは昨年度、金沢大学内で公募され、一般投票で選ばれました。名前は、金沢大学の校花アカンサスの和名「葉薊(ハアザミ)」からきています。現在、包括ライセンスのポスターや Web ページ等に使われています。



12. よく寄せられる質問

Q1. Windows の新規インストールはできますか？

A1. 包括ライセンスにおいては Windows の新規インストールは認められません。更新のみです。つまり、元々 Windows が入っていないマシンへのインストールは不可です。ただし Mac OS での Windows 利用については、認められます。

Q2. 包括ライセンスに英語版は含まれますか？

A2. Windows, Office 共に、英語版は日本語版と同じ条件で提供されます。金沢大学生協でのメディア購入の場合には、英語版を指定して申し込んで下さい。価格は日本語版と同じです。ネットワークからのダウンロードインストールの場合には、英語版を選んで下さい。

Q3. 金沢大学を去った後も、包括ライセンスで入れたソフトウェアは使えますか？

A3. 学生と教職員で異なります。学生の場合には、卒業の時点で金沢大学が包括ライセンスを契約している状態であれば、包括ライセンスで導入したソフトウェアを1台に限り卒業後も使い続けることができます。必要に応じてライセンスの使用許諾書をお渡しします。

教職員の場合には、金沢大学からの異動、退職にあたっては、包括ライセンスで自宅ワーク用パソコンに入れたソフトウェアについては全てアンインストールしていただきます。

Q4. 非常勤職員、非常勤研究員、医員（非常勤医師）等も利用可能でしょうか？

A4. 金沢大学から発令されている非常勤の教員・職員は、常勤の教員・職員と同等に利用可能です。ただし、非常勤講師（教員）としてのみ発令されている方は不可です。なお、メディアの購入にあたっては、生協店舗での購入時に職員証等の身分確認できるものが必要です。

Q5. 共用コンピュータにダウンロード・インストールした場合、学外での使用（学会や共同研究などでの学外への持ち出し）は不可能なのでしょうか？

A5. ダウンロードインストール可能な PC は、教職員が学内で業務に利用するパソコン（研究室、実習室等に設置された研究教育用パソコンを含む）に限定されます。しかし、ソフトウェアがダウンロードインストールされた PC を、一時的に学外での活動において教職員が使用することは差し支えありません。

Q6. ライセンス料が無料なのに、なぜ学生はメディアを購入しなくてはならないのでしょうか？

A6. 包括ライセンス契約においては、ライセンス料は無料なのではなく、金沢大学が毎年支払います。金沢大学が購入した包括ライセンスをどのように学内で活用するかについては、金沢大学の判断で決めることとなります。

もちろん、なるべく多くの教職員・学生になるべく低額で活用いただくことが一番大切であることはいうまでもありません。他方、このような利用方法が根底から覆されるリスクを最小にすることも、同時に大切です。すなわち、1万人規模の学生に自由に活用していただくこと、悪意の有無は別に、金沢大学のライセンス・キーが外部に流出するような事故は絶対に防がねばならない、ということと同時に考慮する必要があります。

インストールディスク販売によるソフトウェア配布においては、ディスク1枚毎に、別々のキーがつけられています。また、購入時点での誓約書の提出、学生証による本人確認が必須です。

以上の事情から、学生への供給方法としてメディア販売に限定することを決めました。なお、ディスクはマイクロソフトからの供給時点で有料です。販売時の確認作業等を含めて、金沢大学生協との価格交渉の結果、案内の価格となっています。

13. 詳しい情報と問い合わせ先

詳しい最新情報は総合メディア基盤センターの Web ページをご覧ください。

総合メディア基盤センターのホームページ→包括ライセンス
<http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/service/MSlicense>

また包括ライセンスに関する問い合わせは専用のメールアドレス mslicense@ml.imc.kanazawa-u.ac.jp をご利用ください。

2010年3月

金沢大学 X マイクロソフト

包括 (全学)

ライセンス

開始

Windows
と

Office
無償の時代へ

2010年3月
卒業予定者限定
特別セール
Office, Windows7
それぞれ千円
金沢大学生協予約販売のみ

(メディア実費は除く)

無償対象：全ての教職員(非常勤職員を含む)、全ての学生・大学院生

- Office (Windows & Mac) 新規インストール
- Windows OS 最新版 (Windows 7) への更新



アカンサスポータル・マスコット あざみ

金沢大学総合メディア基盤センター

詳細は <http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/service/MSLicense/>

photo by H.Fukuoka, design by H.Tomita & Ado's